

東日本大震災による国指定鳥獣保護区の被害状況について

- 三貫島、日出島(オオミスナギドリ、ヒメクロウミツバメ、クロシジロウミツバメといった海鳥類の重要繁殖地)については、局所的に津波により浸水した箇所、崩落箇所が確認されたが、繁殖地、植生等への影響はほとんど見られなかった。
- 希少鳥類の繁殖状況は例年と同規模であった。今後も繁殖期のモニタリングを継続する予定。
- 仙台海浜(蒲生干潟等)については、干潟が津波の影響を受け、大規模な地形の変化が見られ、現在も変化し続けている。
- 津波後も渡り鳥(シギチドリ類、カモ類)の飛来が継続的に観察されている。
- 今後定期的な渡り鳥の飛来状況、地形等のモニタリングを継続する予定。



三貫島のオオミスナギドリ営巣地
(6/20撮影)

国指定仙台海浜鳥獣保護区の被災状況(蒲生干潟)

Yahoo!地図



• 干潟に土砂が堆積

• 砂浜が後退



国土地理院提供 3月12日撮影

国指定仙台海浜鳥獣保護区の被災状況(蒲生干潟)

国土地理院提供 5月18日撮影



• 干潟と川がつながって、水の交換が見られる

• 干潟が形成されつつある

• 砂浜の幅が拡大傾向